

デジタル・アップスキャンコンバーター

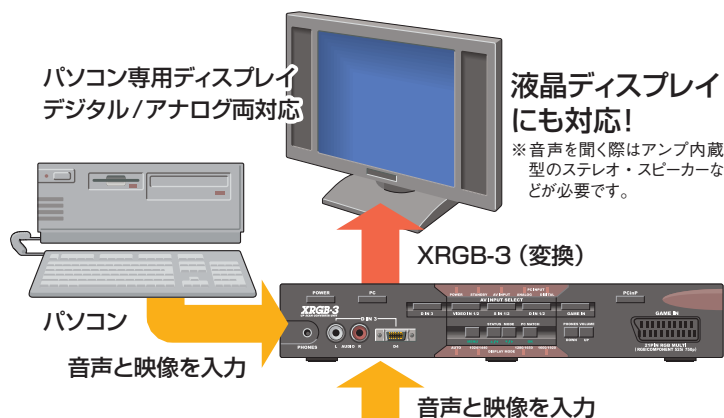
- ビデオ映像やS映像をパソコン専用ディスプレイで表示しよう!
- D4入力端子付きなので、ハイビジョン映像(1125i, 750p)もパソコン専用ディスプレイに表示できる!
- 子画面表示対応なので、パソコン画面を見ながらビデオ映像を見たりゲーム画面を見ることができる!



特徴

- NTSC映像信号(ビデオ映像やS映像)や、D端子から入力されたハイビジョン映像をパソコン専用ディスプレイ(液晶ディスプレイやブラウン管ディスプレイ)に表示可能。
- D4入力端子付きなので525i、525p、1125i、750pの映像を入力可能。
- コンポーネント・ビデオ端子(Y,Pb,Pr)の映像も、付属の変換ケーブルでD端子などから入力可能。
- デジタルRGB(DVI-D)、アナログRGB(ミニD-SUB・15ピン)でディスプレイに接続可能。
- 1024×768/1280×1024/1600×1200ドット及び、1440×900/1680×1050/1920×1200ドットの液晶ディスプレイに対応。
- パソコン画面上にビデオ映像などを子画面表示可能。
- 3次元Y/C分離回路搭載により、ビデオ映像のニジミを低減。
- ガンマ補正機能搭載で、画面の薄暗い部分も明るく表示可能。
※画面全体の明るさはディスプレイの性能に依存します。
- リモコン付属なので、離れた場所からの電源オン、入力切替、画面調整が可能。
- フルRGB処理(24bit)、フルデジタル処理。
- NTSC映像信号を4倍オーバーサンプリング。
- XRGB-3にパソコンが接続されていれば、パソコンの映像をディスプレイにスルー出力することが可能(スルー出力の際も本機の電源は常に「オン」しておく必要があります)。

※デジタルRGB接続の際、一部のパソコンやビデオカード、ビデオチップで相性が発生することがあります。

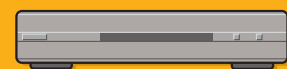


NTSC
VIDEO, S

D4
525i, 525p
1125i, 750p

RGB
21pin, 15pin
(家庭用ゲーム機)

- NTSC方式の映像信号(ビデオ出力, S出力)や音声を出力する機器。
- D端子から525i, 525p, 1125i, 750pの映像を出力する機器。
- RGB映像出力を持つ家庭用ゲーム機。



アップスキャンコンバーター・ユニット

XRGB-3

エックス・アール・ジー・ビー・スリー

UP SCAN CONVERTER UNIT

標準価格 **38,640** 円(税込) DP-3913418
JANコード 4961997001134

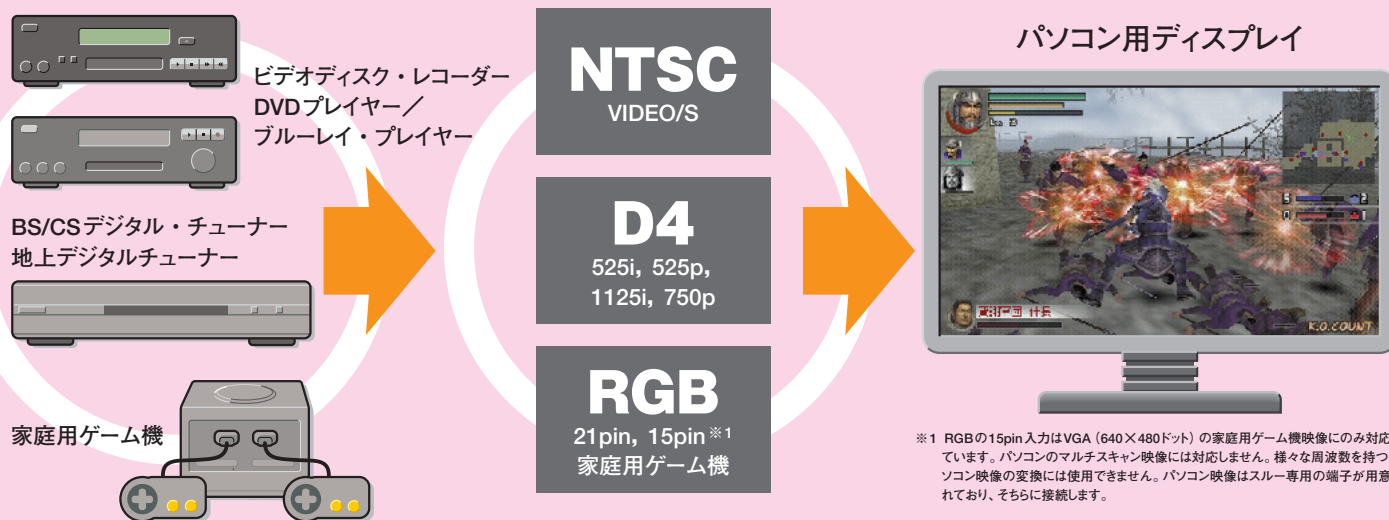
※本製品の価格、デザイン、仕様は予告なく変更することがあります。
※本カタログに印刷されている、本体のデザインや印刷は、開発中の物です。このため製品と異なることがあります。

家庭用ゲーム機が! 地デジチューナーが! ディスプレイにまるごと映る!



XRGB-3は、映像機器や家庭用ゲーム機などのNTSC映像信号(ビデオ映像、S端子映像)や、D端子の映像をパソコン専用ディスプレイに表示するアップ・スキャンコンバーター・ユニットです。本機をご使用いただくことで、パソコン映像しか表示できないディスプレイに映像機器や家庭用ゲーム機の映像を表示することができます。また、本機は子画面表示機能を備えておりますので、パソコン画面を見ながら、ビデオ映像などを子画面で見ることが可能です。

地デジチューナーやブルーレイ・プレイヤー、家庭用ゲーム機の映像を パソコン用ディスプレイに表示! 1125i (1080i) / 750p (720p) 対応



※1 RGBの15pin入力はVGA(640×480ドット)の家庭用ゲーム機映像にのみ対応しています。パソコンのマルチスキャン映像には対応しません。様々な周波数を持つパソコン映像の変換には使用できません。パソコン映像はスルー専用の端子が用意されており、そちらに接続します。

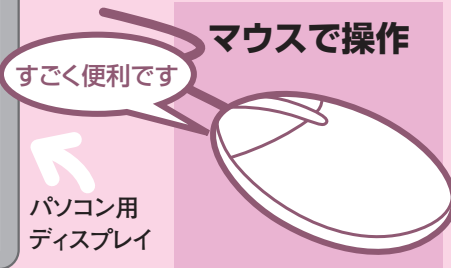
©2006 KOEI Co., Ltd. All rights reserved.

パソコン画面上に映像を子画面表示可能



PCinPの子画面表示機能

リモコンで簡単に子画面表示や子画面の操作が可能。リモコンにサイドボタンが付いており、画面の4カ所(右上、右下、左上、左下)にダイレクトに子画面が表示できます。子画面のサイズもリモコンで調整できます。

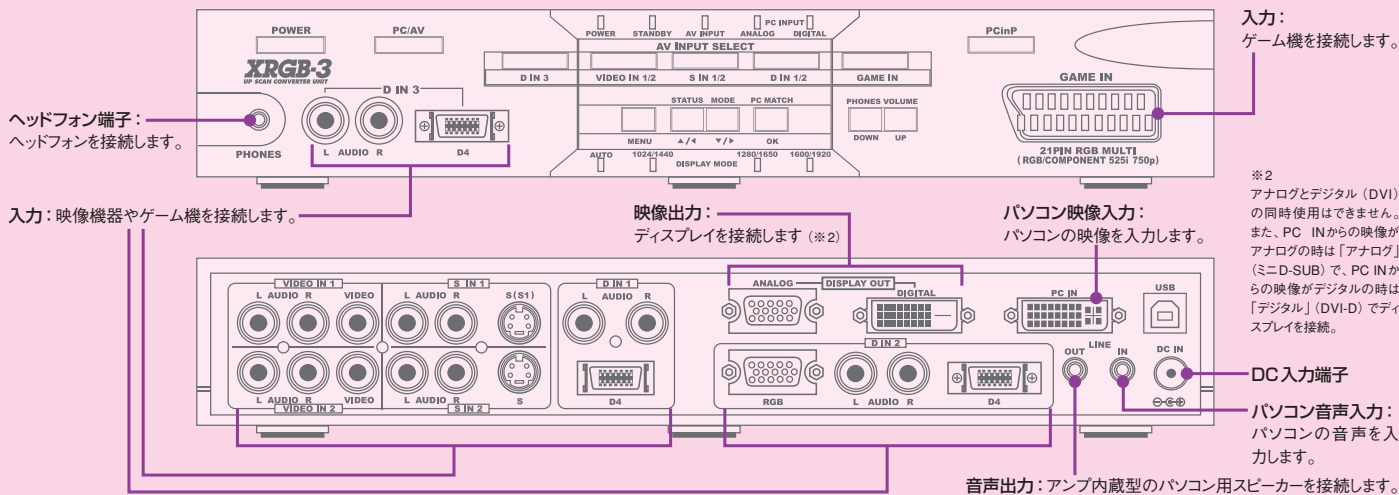


WINinPの子画面表示機能

付属のソフトウェアをインストールすることで、ウィンドウ上で子画面を表示することができます。表示位置や、表示サイズはマウスで簡単に操作できます。XRGB-3がパソコン画面に映像をオーバーレイしているだけなので、キャプチャ装置の様にCPUに負担がかかりません。

※パソコンに映像や音声を取り込み(キャプチャー)することはできません。

入出力端子解説



ファームウェア・バージョンアップで対応した機能の解説

PSP-2000/3000のゲーム画面を拡大表示!

モバイルゲーム機PSP-2000/3000の映像をD端子ケーブルで出力した際、ゲーム映像はレターボックス表示されるため、画面中央に小さく表示されます。XRGB-3では、この小さな画面をディスプレイに拡大表示することができます。

ワイドディスプレイの場合



ノーマルディスプレイの場合



WINinP Viewerもバージョンアップ

これまで子画面表示ソフトウェアWINinPViewerはワイド画面に対応していませんでしたが、バージョンアップにより対応できるようになりました。1440×900ドット、1680×1050ドット、1920×1200ドットのパソコン画面上でも使用が可能となりました。また、添付のCD-ROMにはWindows版に加え、Java版も添付されています。子画面を「常に手前に表示」、ソフトウェアの「終了位置の記憶」など新しい機能を搭載しました。

※ AT互換機上で、Windows2000/WindowsXP及びJavaに対応。
 ※ WindowsVistaでの正常動作は確認しております。ご使用にあたっては、Vistaのデスクトップテーマをクリック表示にすることをおすすめします。

©2006 KOEI Co., Ltd. All rights reserved.

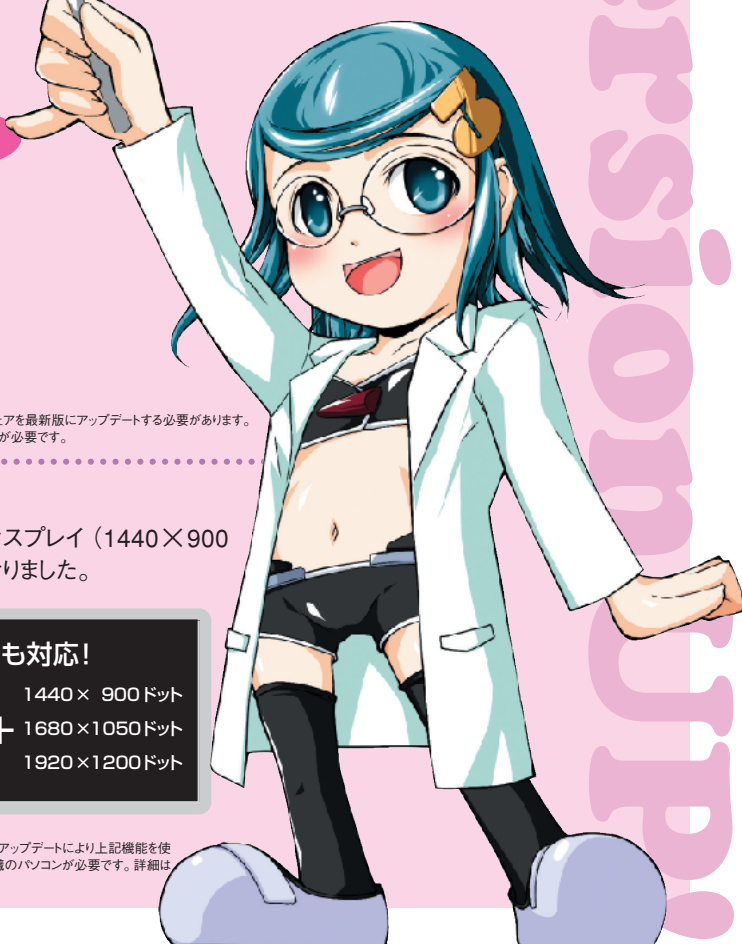
※本製品は、マイクロソフトのオリジナル商品であり、ソニーコンピュータエンタテインメントのライセンス商品ではありません。
 ※7: PSP-3000のD端子からのD1映像(525i)や、ビデオ・S端子からの映像入力で同じ機能を使用するにはXRGB-3のファームウェアを最新版にアップデートする必要があります。
 ※PSP-3000との接続には、別途PSP用の映像ケーブルが必要です。 ※PSP-2000との接続には、別途PSP用のD端子ケーブルが必要です。

ワイドディスプレイにも標準対応!

最新ファームウェアではこれまでのノーマルディスプレイに加え、ワイドディスプレイ(1440×900ドット、1680×1050ドット、1920×1200ドット)の機種にも対応可能となりました。

旧バージョン	ノーマルのみ	新バージョン	ワイドにも対応!	
	1024 × 768 ドット 1280 × 1024 ドット 1600 × 1200 ドット		1024 × 768ドット 1280 × 1024ドット 1600 × 1200ドット	1440 × 900ドット 1680 × 1050ドット 1920 × 1200ドット

※2008年6月以降に出荷されたXRGB-3には上記の機能が内蔵されております。これまでご購入いただいたお客様も、ファームウェアアップデートにより上記機能を使用可能です。尚、ファームウェアのアップデートにはAT互換機でWindows2000またはWindowsXPの動作するIntelチップセット内蔵のパソコンが必要です。詳細は弊社Webページをご覧ください。また、子画面表示ソフトウェア(WINinP Viewer)は弊社Webページよりダウンロード可能です。



XRGB-3の出力端子には下記ディスプレイを接続することができます。

● デジタルRGB入力端子 (図1、図2のDVI端子) やアナログRGB入力端子 (図3のミニD-SUB・15ピン) を持つ液晶ディスプレイ、及びアナログRGB入力端子 (図3のミニD-SUB・15ピン) を持つブラウン管ディスプレイに対応可能。対応解像度は表1参照。

表1: ディスプレイ解像度対応表

	ディスプレイ解像度	水平同期周波数	リフレッシュレート
ノーマル	1024×768ドット	48kHz	60Hz
	1280×1024ドット※3	64kHz	60Hz
	1600×1200ドット	75kHz	60Hz
ワイド	1440×900ドット※4	56kHz	60Hz
	1680×1050ドット※5	65kHz	60Hz
	1920×1200ドット※6	74kHz	60Hz

※3: 1280×960ドット相当で表示されます。 ※4: 1440×810ドット相当で表示されます。
※5: 1680×945ドット相当で表示されます。 ※6: 1920×1080ドット相当で表示されます。
※図2の端子のケーブル (DVIケーブル) がディスプレイから直接生えている機種には本機を接続できません。また、パソコンやディスプレイとの接続にDVIケーブル (29ピン) を使用するとはできません。
※1024×768ドットのディスプレイではハイビジョン映像を表示する際、十分な解像度が得られないことがあります。



本機に接続可能なパソコンと表示ソフトウェアに関する注意事項

本機にパソコンを接続する際には下記の仕様が必要です。
● 図1、図2、図3の映像出力端子を持つAT互換機 (DOS/Vパソコン)。
● AT互換機 (DOS/Vパソコン) で、デスクトップ型の機種 (ディスプレイと本体が一体型の機種を除く)。

子画面表示ソフトウェアを使用する際、AT互換機 (DOS/Vパソコン) に下記の仕様が必要です。
● Windows2000 Professionalまたは、WindowsXP HomeEdition/Professionalを搭載していること (OSは日本語版のみ対応)。
● CPU速度600MHz以上のintel社製CPU (Pentiumシリーズ) および互換CPUを搭載する機種。
● メインメモリが128Mバイト以上で、ハードディスクに100Mバイト以上の空き容量があること。
● マウスが接続されていること。
● 640×480ドット以上の画面を表示可能なこと。

子画面表示ソフトウェアに関して
● 本製品のCD-ROMには、Windows版とJava版のWINiNP子画面表示ソフトが同梱されております。
● Windows版はWindows2000とWindowsXP (32bit) に対応しております。WindowsVista (32bit) の動作は確認しております。
● Java版をご使用の際は事前に必ずJavaをパソコンにインストールしてください。なお、Java版は、Javaの動作するパソコンでは動作いたしますが、弊社ではAT互換機のWindowsOS上でのみ動作を確認しております。

ご購入前の注意事項

※ご購入前に、本機の仕様や機能をよくご確認の上、購入をご検討ください。機能や仕様面でわからないことがあれば弊社にお問い合わせください。なお、最新の情報などは、弊社ホームページでご覧いただけます。
※525i、525p、1125i、750pというD端子やコンポーネント・ビデオ端子の信号方式は、映像機器やゲーム機器によっては480i、480p、1080i、720pと表記されていることがあります。525iは480i、525pは480p、1125iは1080i、750pは720pと同じ意味です。
※本機は、業務用途での使用 (例えば数年間電源を切らずに連続使用するなど) を前提として設計されており、本機の製品寿命や耐久性において、お客様の満足を得られないことがあります。このため、他機器 (産業用機器や製造装置など) へ組込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とするシステムへの利用はお薦めできません。特に本機を組み込んだ機器を出荷するなどの場合は、故障時のリスクや後々のサポートの期限 (生産終了後5年以下) を考慮の上、採用をご検討ください。
※本機は一般的なオフィスや家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途には使用しないでください。
※本製品を、日本国外の国や地域で使用した際の動作保証はいたしません。
※本機の仕様や外観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機の生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。

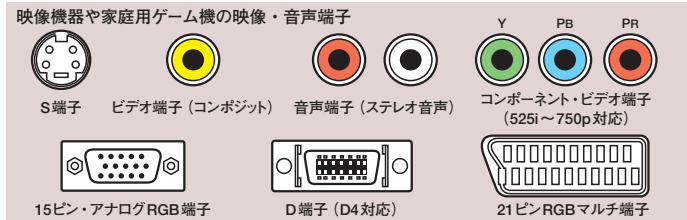
ディスプレイや表示、接続、画質に関するご注意

※本機は、 HDCPには未対応です (HDCPとはDVI端子やHDMI端子等で使用される暗号化機能の事です)。
※ HDCP対応のDVI端子の映像やHDMI端子から出力される映像を本機に入力しても、ディスプレイに映像は表示されません。
※ HDMI端子やDisplayPort端子の映像信号をDVI端子などに交換して本機に入力した場合、正しく映像を表示できないことがあります。
※ディスプレイとパソコンが一体型になったパソコンやディスプレイには、本機を接続できません。
※ノートパソコンの液晶ディスプレイに本機の映像を表示することはできません。
※対応していない解像度の液晶ディスプレイには、本機を接続しても映像を正しく表示することはできません。
※パソコンと本機、および本機と液晶ディスプレイをDVI-Dケーブルで接続する場合は、信頼のおけるメーカーの販売するケーブルをご使用ください。デジタルRGB信号はアナログRGB信号と違い、ケーブルとの相性によって画面が正しく映らないことがあります。
※ TTL方式のデジタルRGB端子やDFP端子を持つディスプレイやパソコンには接続できません。
※本機はデュアルリンク接続のDVI-D端子を持つディスプレイやパソコンには対応しております。
※画面の明るさはディスプレイの性能に依存します。このため家庭用テレビの様に明るく表示することはできません。
※液晶画面の描画速度は、液晶ディスプレイの性能に依存します。
※液晶プロジェクターや三管式プロジェクターへの接続に関しては動作保証いたしかねます。
※本機で変換した映像は、表示するディスプレイの違い (ドット数の違いなど) により映像の表現 (質感) が異なります。
※接続するディスプレイの機種によって、映像の色合いなどが異なることがあります。
※本機で変換した映像の色合いは、ディスプレイの表現力に依存するため、家庭用テレビと色合いを同じにすることはできません。
※蛍光体の中残光や長残光のブラウン管ディスプレイでは、画面に残像が表示されるため、接続はおすすめできません。

※ NEC社PC-9801専用ディスプレイ (640×400ドット・水平同期周波数24kHz) やパソコン (PC-9801シリーズ) には対応していません。また、640×480ドット (31kHz) や800×600ドット (38kHz) の解像度までしか対応していないディスプレイには対応していません。
※映像をアナログRGB接続でディスプレイに表示した場合、表示位置や画面比率が変わってしまうことがあるため、ディスプレイ側で表示位置、画面比率などを調整する必要があります。このため、画面の調整機能を持たないディスプレイとの接続はおすすめできません。
※本機にはデジタルRGB出力端子 (DVI-D) とアナログRGB出力端子 (15ピン) の2つの映像出力端子がありますが、これらの端子に同時にディスプレイを接続することはできません。本機に接続できるディスプレイは、1台のみです。
※本機と市販の切り替え機 (セレクター) や分配機を組み合わせると、映像や音声を正しく出力できないことがあります。

商標に関する記述

Microsoft、Windowsまたはその他のマイクロソフト製品の名前および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Javaは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。「真・三國無双 2nd Evolution」は株式会社コーエーの登録商標です。
その他、本パッケージに記載された商品名および会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは基本的に明記していません。



子画面表示機能使用時やスルー出力時の画面の仕様

本機にパソコンが接続されていれば、パソコン映像をスルー出力したり、パソコン映像上にビデオ映像などを子画面表示できますが、ご使用にあたって、下記の制限事項があります。
● パソコンの画面モードによっては、スルー出力、子画面表示できないことがあります。
● 本機内では、アナログRGB信号・デジタルRGB信号共に映像は24bitで処理されますので、パソコン側で32bit以上の色を使用している場合、出力時の色の表現力が24bitに低下します。なお、アナログRGB接続の場合、映像がA/Dコンバーターを通過するため鮮明度が低下し、色の再現性が若干低下します。
● 子画面表示された映像はパソコン映像に同期して表示されるため、画面に「遅延」、「コマ飛び」、「がたつき」が発生します。
※子画面表示時の映像の遅延は最大3フレームです。
● PCin機能とWINiNP機能は同時に使用できません。
● WINiNP機能使用時は、XRGB-3の映像が、パソコン画面上のピンク色の色相にオーバーレイされます。このため、画面上の同じ色相の画像は色抜けします。
● WindowsXPやWindows VistaではWINiNP機能使用時はデスクトップ画面のテーマを「クラシック表示」にすることを推奨いたします。
● WINiNP機能使用時はWindows VistaのAero (エアロ) 表示には対応できません。
● アナログRGBでパソコンを接続し、WINiNP機能を使用した場合、画面の左端と右端にピンク色の縦線が表示されることがあります。
● パソコンの映像・音声をスルー出力するときは、本機の電源を「オン」にする必要があります。本機の電源が「スタンバイ (待機)」や「オフ」のときはスルー出力ができません。
● スルー出力の映像はスキャンコンバート (周波数変換) されます。このためディスプレイに対応した解像度の映像を入力する必要があります。
● DVI-D (デジタルRGB) ケーブルでパソコンを接続した際は、ATI社やSiS社製のビデオチップ (IGPを含む) や同社ビデオカードを搭載したパソコンでは、相性のため、画面に「点滅」、「ノイズ」、「表示されない」などの症状が発生することがあります。この症状は改善できません。

※業務用ゲーム機を接続した際の、動作保証はいたしません。
※本機はD5 (1125p/1080p) の映像入力に対応していません。
※SOTEC社製液晶ディスプレイ「L15ASK1D」及び、グリーンハウス社の「GH-PMF193シリーズ」はDVIと同じ形状の端子を持っていますが、DVIとは若干規格が違いため、本機には接続できません。
※本機で変換して表示される映像は、全てがプログレッシブ表示 (ノンインターレース表示) され誤りではありません。ディスプレイの仕様や入力される映像信号の組み合わせによっては、疑似インターレース表示されることがあります。疑似インターレース表示される際は、画面にちらつきが発生します。また、本機の表示方式によっては、走査線が間引きされて表示されることがあります。
※表示される画面のサイズや入力される映像によっては画像が欠ける (走査線が間引きされる) ことがあります。
※PAL方式の映像信号や、モノクロ方式 (モノクロNTSC信号など) の映像信号を入力した際の動作は保証していません。
※本製品の画質や鮮明度は、必ずしもお客様の納得のいくものではない可能性があります。
※本機を使用すると、画面の走査線を読み取る装置 (ライトペンや光線銃など) は利用できません。
※SHARP社X6800用ディスプレイや、FUJITSU社FM TOWNS用ディスプレイでの動作は保証できません。
※本製品はディスプレイの縦画面表示 (ビョット表示) には対応できません。
※1台のパソコンに複数のディスプレイを接続されている環境 (マルチモニター等) に本機を接続すると、XRGB-3を接続した方のディスプレイがパソコンに正しく認識されないことがあります。
※特殊なコピープロテクトを使用している映像機器の映像は表示できないことがあります。
※DDCの信号ラインがGNDに設置されている一部のディスプレイやテレビに接続した場合、XRGB-3の電源を「オン」できないことがあります。

ビデオテープの再生映像に関して

ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの再生映像を入力した際の完全な動作は保証いたしかねます。ビデオテープの再生映像は、映像信号がたいへん乱れています。このため、XRGB-3やディスプレイが映像を正しく読み取れないことがあり、「画面が歪む」、「画面が点滅する」、「ディスプレイが省電力モードになる」、「画面が変色する」などの症状が発生することがあります。これは、本機やディスプレイの仕様であり、改善することはできません。あらかじめご了承ください。また、一部の市販ビデオソフトには各社オリジナルのコピー・プロテクト信号が含まれるものがあり、それらの映像は表示できないことがあります。

変換した映像に「遅延」、「コマ飛び」などが発生します

本機で映像を変換すると、下記の症状が発生します。
● 画面に「コマ飛び」などが発生します。このため、ゲームソフトの種類によっては快適にプレイできないことがあります。
● 全画面表示の時の画面の遅延は最大2フレームです。子画面表示の時の遅延は最大3フレームです。映像が遅延するとゲームソフトの種類によっては快適にプレイできないことがあります。 参考: 1フレーム=1/60秒

家庭用ゲーム機との接続について

● 旧型の家庭用ゲーム機を本機に接続した際、正しく映像を表示できないことがあります。
● ノンインターレース方式の解像度を使用したゲーム画面をビデオケーブルで接続すると、ディスプレイによって画面がちらつくことがあります。
● 古いゲーム機や、長期間使用されたゲーム機は映像出力部の電子部品が劣化していることがあり、このような機種の映像を入力すると、ゲーム画面のフラッシュなどの際に画面が歪んだり、点滅することがあります。

● 販売・流通に関するお問い合わせ先
● 製品内容に関するお問い合わせ先
発売元: 株式会社 電波新聞社
企画制作: マイコンソフト株式会社
〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201 (販売部・ダイヤルイン)
〒541-0041 大阪府中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827

マイコンソフトホームページ <http://www.micomsoft.co.jp/>
東京本社 03-3445-6111 札幌支店 011-641-5591 関東総局 027-326-3206 京都支店 075-221-8021
大阪本社 06-6203-3361 仙台支店 022-227-7211 名古屋支店 052-261-4541 広島支店 082-228-5581
西部本社 092-431-7411